

令和4年度 津久見市学力向上アクションプランに係る特別公開授業

授業者	大分教育事務所長 山香 昭	教科	小学校 2年 3年 特別活動
日時	7月13日(水)	場所	青江小学校

本時の私たちのねらい
 授業で子どもと向き合うことについて、山香所長と子どもの関わり方を参観することを通して、指導の在り方を考える。

【誉める場面は教師の願いを伝える場】

【所長が子どもを誉めたこと】

- 姿勢がいいよね。
 - 手の挙げ方がいいよね。
 - 「ありがとう」と言ってもらって嬉しい。
 - 身を乗り出して見ているね。
 - 「～です。」丁寧な言葉がいいね。
 - 両手で受け取って気持ちがいいよ。
 - 友達を真似ている君がすごいね。
 - 気持ちの切り替えスピードがはやいね。
 - 想像するって大事なことだよ。
- 等々…一度の授業で数えきれないくらい!

誉める場面を見逃さない!!



先生は何を書くのだろう。

先生は何を話すのだろう。

【子どもの言動を価値づけする】

子どもの発言を繰り返すのではありません。子どもが考えた、発言した、行動した意図を周りの子に伝えます。

あなたは〇〇が大事だと思ったから、そう言ってるんだね。すごいね。

すぐに話し合いの中に入れて自席でじっとしていた子どもがいました。しばらくすると、発言はできませんでしたが友達の中に自分から入っていきました。所長は後でみんなに聞かせるように伝えます。

みんなに認めてもらえる瞬間

友だちが来なくて「どうしよう」と思ったよね。でも、自分から行こうと考えたんだよね。勇気があるよね。すごいね!!

自分の行動の価値づけをされて、表情が変わる子

～教師は、子どもの姿から振り返る～

教師である以上、授業改善を行っていくのは当然。新大分スタンダードを基に授業の実施。指導案も単元計画も考える。学力調査の結果も問われる。いろいろ求められますが、上記のような子どもの姿が見られた時は、自分にも合格!と言ってあげていいのではないのでしょうか。子どもが頑張った!裏に…私も頑張った!と思えるような授業をしていきたいです。

野々下

